

絵が生まれるまで

東京生まれ。5歳のころ戦争の激しくなった東京を離れ鎌倉に移り住みました。小学校低学年に始めたヴァイオリンは途切れることなく現在まで私の生活に深くかかわってきました。中学、高校、大学とミッションスクールに学んだことは今の私の精神的基盤を作りました。短大卒業後母校のフェリス音楽教室に勤め定年まで40年余り子供たちにヴァイオリンを教えることを続けてきました。ちょうど定年になり少し時間に余裕が出てきた頃、隣家に0歳、2歳の子供のある姪の家族が引っ越してきました。それまでは絵を描いたことも絵に興味すらなかった私でしたが、何とかこの子達の可愛さを絵にしてみたいと写生を始めたのが絵を描いた始まりでした。その2人の子供の絵を描いている間に今まで私の心に蓄積された様々なシーン、音楽教室の子供たちとの生活、住まいがそばで親しんできた大仏、海、毎週通っている教会のこどもたち、そして大好きな伊那谷の景色などが次々と絵になってきました。60歳過ぎていただいた神様からのプレゼントとおもっております。

2012年 岡崎光子